

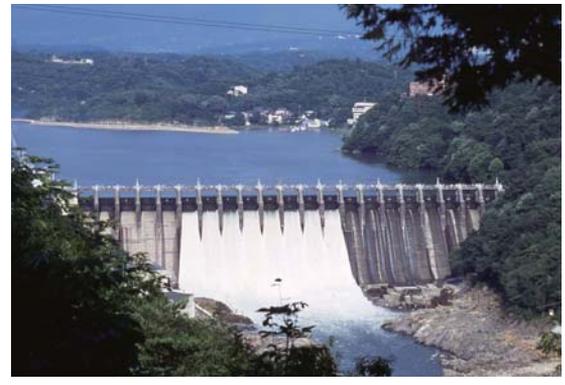
77

日本初の発電用ダム

おおい

大井ダム

大井町と中津川市蛭川境の木曾川に築かれた日本初の発電用ダム。日本の電力王・福沢桃介（福沢諭吉の娘婿）が、関西電力の前身の大同電力社長として、1924（大正13）年に建設した。木曾節で「男伊達ならあの木曾川の流れ来る水とめてみよ」と歌われるほど、激流の木曾川本流を最初に締め切った大規模ダムで、高さ53.4m・堤長258mは、完成当時東洋一の規模を誇った。空前の大工事は、莫大な資金の調達、大洪水による工事のやり直しなど困難の連続で、建設に携わった人は延べ146万人。完成によって上流に恵那峡を形成し、ダム湖百選にも選定。2007（平成19）年には経済産業省の近代化産業遺産に認定された。80年以上たった現在でも、最大出力8万4,000kWの電力を供給し続けている。



大井ダム

ひとくちメモ

- 建設半ばに起きた関東大震災により、莫大な資金調達がより困難となった。そこで桃介は、当時としては大胆かつ斬新なアメリカからの外資を導入する方法で、資金集めに成功。また、このダムは、木曾川電源開発の原点である。

関連項目

- ・福沢桃介（P14）
- ・恵那シクラメン（P30）
- ・恵那峡（P47）

78

大自然の中の巨大構造物

かさぎ

笠置ダム

飯地町と瑞浪市大湫町境にあるダム。大井ダムの下流で木曾川本川をせき止める関西電力所有の発電専用ダムで、大自然の中にある巨大な構造物が魅力。傾斜が急で険しい渓谷と激流に挑む難工事の末、当時としては最も短い2カ年の工期で1936（昭和11）年に完成した。作業員も多数が地元採用で、ほとんどの家庭が工事に関係した地域ぐるみの建設工事だった。高さ40.8mの越流型直線重力式コンクリートダムで、ダムに付設する笠置発電所の認可最大出力は4万1,700kWである。渓谷とダムによって形成された湖を笠置峡と称し、霧の発生しやすいV字谷の地形は、水墨画のような穏やかな渓谷美を誇る。湖畔のサクラも見事だが、特に谷あいの湖面に映える秋の紅葉は有名。



笠置ダム

ひとくちメモ

- 笠置ダムの名称は笠置山から名付けられ、建設基地も笠置町河合に設置するなど、笠置とのつながりが深いダム。土木学会の「日本の近代土木遺産～現存する重要な土木構造物2000選」に選定。発電所の水車発電機は1万5,000kWボルトアンペアの容量で、当時の国産では最大級。

関連項目

- ・笠置山（P51）

79

東濃用水と愛知用水の水源地

あぎがわ

阿木川ダム

国道257号沿いの東野にあるダム。木曾川水系の水資源開発の一環として、1991（平成3）年に完成した高さ101.5mのロックフィルダム。洪水調節・河川環境の保全と新規利水（最大毎秒4.0立方m）の供給を目的とした多目的ダム。特徴である新規利水は、東濃5市への東濃用水、名古屋市をはじめとする愛知県尾張地域と知多半島へ供給する愛知用水の貴重な水資源となっている。治水では木曾川本流とともに、恵那市街地や国道19号・JR中央線・中央自動車道への洪水調整としても重要。曲線でややアーチ型のロックフィルダムは珍しく、風光明媚な阿木川湖はダム湖百選にも選定された。恵那インターチェンジや市街地からも近く、観光や憩いの場として訪れる人も多い。



阿木川ダム

● ひとくちメモ

- 1994（平成6）年の渇水では貯水率が下がったことから、知多半島では一日19時間の断水が十数日間続くという記録的な大渇水に見舞われるなど、阿木川ダムの貯水量は東海地方に対する影響が大きい。また、恵那市上水道全体（東濃用水と大崎浄水場）の水資源でもある。

関連項目

・東濃牧場（P53）

80

日本初の放物線アーチダム

やはぎ

矢作ダム

串原の愛知県境にあるダム。1971（昭和46）年、美しい形状が特徴のアーチ式ダムとして完成。それまでの円弧アーチではなく、放物線アーチを採用した日本初のダム。以降、日本ではアーチ式ダムは放物線アーチ式が主流となった。このダムは、洪水調節・農業用水・水道用水・工業用水・発電を目的とする多目的ダムで、すべてを併せ持つ珍しい存在。水道用水として西三河地域の98万4,100人分の水を供給することができるほか、農業用水として1万2,595haの田畑に水を届けている。さらに、他の水利用に支障のない範囲で最大出力6万7,000kWのクリーンなエネルギーを生み出している。

毎週火曜日には、一般の方を対象に、ダムの堤体の内部や操作室などを無料で見学できる。年間に約1,200人が見学に訪れ、60m下の通用口から見上げる堤体は圧巻。（問い合わせ：矢作ダム管理所）



矢作ダム

● ひとくちメモ

- ダムによって生まれた奥矢作湖は、春は桜、秋は紅葉が楽しめるツーリングスポット。また、矢作ダムの上流にある矢作川流域はアユかけや溪流釣り、キャンプなどでにぎわっている。

関連項目

・奥矢作レクリエーションセンター炭焼き窯（P32）

81

庄内川流域を守る多目的ダム

おりがわ

小里川ダム

山岡町と瑞浪市境にあるダム。庄内川（土岐川）の相次ぐ水害から生命や財産を守る目的で、2004（平成16）年に完成した。このダムは国土交通省が直轄管理しており、東濃地域から尾張地域の水害を軽減するほか、河川環境の保全と放流水を利用した発電を目的とした多目的ダム。高さ114^{メートル}の重力式コンクリートダムで、直線的なデザインの中に、洪水吐導流壁の構造を半円形として曲線を印象づけている点が特徴。建設時の掘削面は緑化などにより、周辺の自然林とマッチした景観も創出。ダムの下にある「小里川発電所」では、最大出力1,800^{キロワット}の水力発電を行っている。ダムにより形成された「おりがわ湖」のほとりに、水車と新鮮野菜で有名な道の駅「おばあちゃん市・山岡」がある。



小里川ダム

ひとくちメモ

- ダム内部には見学設備が整備されていて、エレベーターによりダム中央のバルコニーでの眺望が楽しめる。この発電所の発電設備は、落差の変動が大きな箇所でも有効な、可変速誘導発電システムを世界で初めて採用している。

関連
項目

・おばあちゃん市・山岡（P25）

82

東濃の軽井沢

ほここ

保古の湖

東野と中津川市にまたがる根の上高原にあるかんがい用の人口湖。1924（大正13）年に完成した保古の湖は、海拔850^{メートル}、最大水深16^{メートル}、満水面積は約14^{ヘクタール}あり、中部地方随一といわれた。保古の湖付近一帯は^{えなさん}胞山県立自然公園に指定され、ルアーフィッシングやワカサギ釣りなどが楽しめるほか、周辺には遊歩道や運動広場もある。また、キャンプ場などのアウトドア施設や国民宿舎恵那山荘が整備されており、家族連れなどにぎわう。冬には、木立や木枠などに水をかけて制作された氷のオブジェが、光とともに幻想的な世界をつくる。



保古の湖

ひとくちメモ

- 保古の湖の天然スケートリンクは、かつて東海随一のスケート場と評され、スケートを楽しむ多くの人でにぎわった。しかし、近年の暖冬のため、スケートができるほど厚い氷が張らなくなってしまった。

関連
項目

83

長寿を祝う滝

じゅ ろう たき 寿老の滝

三郷町の寿老の滝は、西濃の養老の滝に対し、古い^{ことほ}を^{ことほ}「長寿を祝う」「寿老の滝」と名づけられた。屏風山^{びょうぶやま}の麓で、三郷町と山岡町の境に位置し、人里離れた閑静な谷川の上流にある滝。落差は10^mで、水量が多いときは、左右2つになって流れ落ちる。周りの緑と澄んだ水は癒やしの空間になり、マイナスイオンが漂うリフレッシュの場として最適。夏には、多くの家族連れが水遊びに訪れる。滝の近くでは、湧き水を飲むこともできる。



寿老の滝

ひとくちメモ

- 滝には1765（明和2）年の年号が刻まれた石造りの観音様が祭られている。夏には家族連れでにぎわい、知る人ぞ知る避暑スポットとなっている。

関連
項目

84

年間10万人が訪れる名湯

ゆ ささゆりの湯

串原に2002（平成14）年7月にオープンした温泉。2009（平成21）年には入場者数100万人を達成し、年間10万人を超える温泉ファンに利用されている。温泉施設は、標高464^mの山頂にあり、展望露天風呂から眺める山々の景色は格別。お湯は毎分39リットルの湧出量で、泉質はアルカリ単純泉、刺激が少なく万人に適している。大浴場、泡風呂、ジェットバス、サウナ、展望露天風呂などのほか、郷土の食材を生かした食事も魅力となっている。温泉の周辺の、農産物直売所「マレットハウスいっぶく」では近隣の農家で栽培された新鮮な野菜などが販売されている。



ささゆりの湯

ひとくちメモ

- ささゆりの湯の前にある農産物直売所「マレットハウスいっぶく」では、2002（平成14）年に直売所の目玉商品として考案された「トマト大福」が温泉客のお土産として人気を集めている。

関連
項目

・ササユリ（P37）

85

200年の歴史を持つ伝説の秘湯

はなしろ おんせん
花白温泉

山岡町の明知鉄道花白温泉駅の傍らに自噴する温泉。言い伝えによると、1782（天明2）年から1786（天明6）年の間、洪水や地震などの災害に凶作が続き、その上、全国に疫病が流行したとき、この湯を使用すると不思議と病が全治したという。そこで、1791（寛政3）年には感謝を込めてお釈迦様が建立された。湯量豊富で、大きなおけに湯が青々とたまり、白い花にまがう湯の花が美しく浮いていたことから、花白の湯と名付けられたと伝えられている。1988（昭和63）年にその源泉を引き、現在の花白温泉がオープンした。泉質は単純放射能線で神経痛、リウマチ、胃腸病、冷え症、腰痛、荒れ症、しもやけ、あかぎれなどに効能がある。



明知鉄道花白温泉駅から徒歩0分

ひとくちメモ

- 市の施設であった花白温泉は、2007（平成19）年に地元へ譲渡。2008（平成20）年12月には
- 経営の悪化により、温泉の営業を停止していたが、
- 新たな経営体制を構築して2009（平成21）年8
- 月にリニューアルオープンした。
- ※月曜定休（祝日は翌日）

関連
項目

・明知鉄道（P30）

86

温泉のデパート

えなぎょうおんせん
恵那峡温泉

恵那峡のほとりに湧く温泉群の総称。恵那峡鉱泉は単純弱放射能冷鉱泉、恵那峡ラヂウム温泉は単純放射能泉で、神経痛やリウマチ、皮膚病などに効能がある歴史ある温泉。恵那峡湯元温泉、恵那峡奥戸温泉は地下1,000mから湧き出る炭化物泉で、神経痛や筋肉痛、疲労回復などに効能がある。恵那峡周辺には日帰り入浴が楽しめる温泉施設や、露天風呂から恵那峡が一望できるなど、日ごろの疲れを癒すのに最適な温泉が多数ある。



恵那峡温泉

ひとくちメモ

- 恵那峡温泉の中には、1192（建久3）年に発見
- され、落ち武者が傷の治療に用いたという歴史のあるラヂウム温泉もある。

関連
項目

・恵那峡（P47）